

- (2) 女子においては肥満（皮下脂肪厚50mm以上）のものは、18～19歳で12.6%，20歳代で11.7%，30歳代18.3%，40歳代26.7%，50歳代24.9%であり、ことに著しい肥満（皮下脂肪厚60mm以上）のものは、18～19歳3.6%，20歳代5.4%，30歳代7.3%，40歳代11.5%，50歳代11.5%と年代が進むにつれて増加している（図7）。

7. 血 圧 の 状 況

- (1) 血圧測定の結果，最高血圧160mmHg以上か，最低血圧が95mmHg以上の者を高血圧者とする，高血圧者は，20歳代では男4.3%，女1.0%であるのに対し，年代とともに増加し40～44歳では男17.0%，女10.6%，60歳以上では男46.5%，女45.5%と約半数の人が高血圧者となっている。年齢が進むと男女の差が少なくなってくる（図8）。
- (2) 皮下脂肪厚別に高血圧者の割合をみると30歳代以上では，男女とも各年齢層において皮下脂肪厚が大になるほど，すなわち肥満者ほど高血圧者の割合は増加している。特に40～49歳，50～59歳の女では，この傾向が著しい（図9）。

図6 都市町村別朝の欠食状況

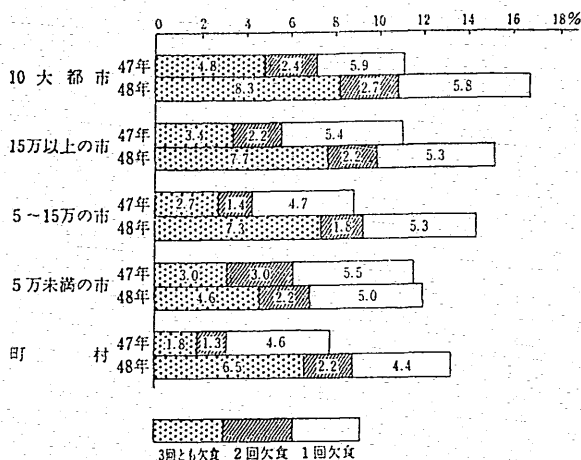


図7 皮下脂肪厚でみた性別肥満傾向
(上腕背部+肩胛骨下部)

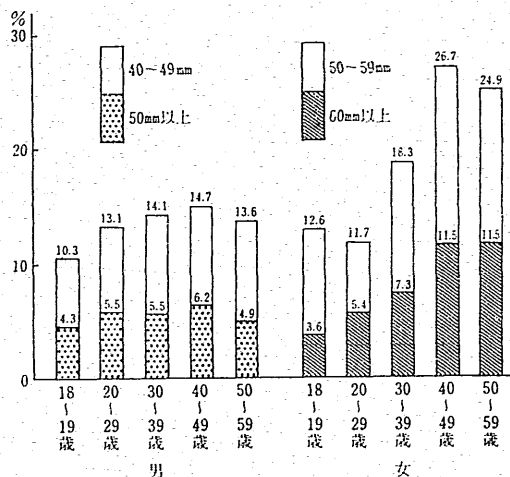


図8 性・年齢別にみた高血圧発現率

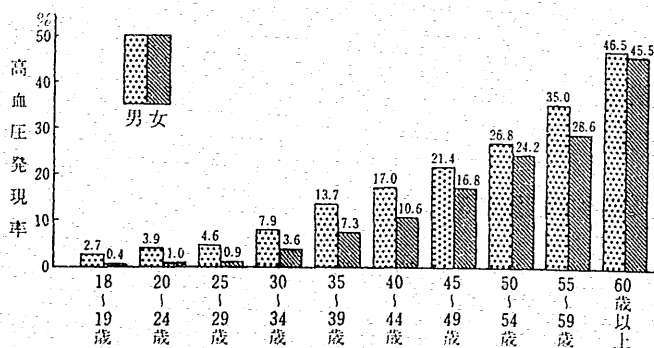
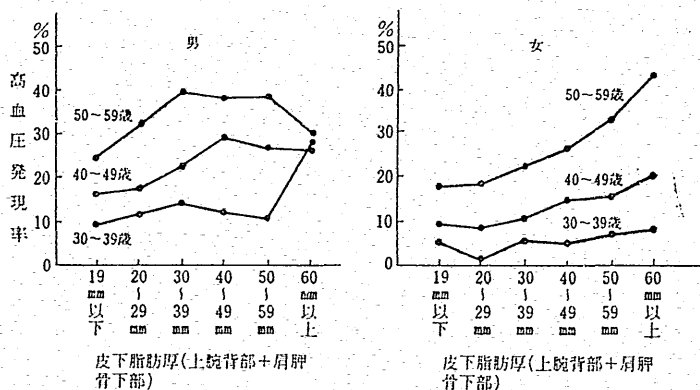


図9 皮下脂肪厚と高血圧との関係



8. 全血比重, 血色素量調査

- (1) 成人層の貧血傾向を調査するため昭和47年度の女性の調査に引続き48年度は男性の全血比重, 血色素量の調査を行った。

男性について年齢別に全血比重別分布をみると図10に示すように1.054以下の低位にある者は18～24歳では5.1%, 25～29歳4.8%, 30歳代6.5%, 40歳代9.9%, 50歳代17.2%と年齢が増すにつれ多くなる傾向がみられる。このうち全血比重が1.051以下と献血基準にあわない程の低位にある者は, それぞれ0.7%, 0.8%, 0.8%, 1.7%, 2.8%である。昭和47年に実施した女性の調査結果と比較してみると女性は, 男性に比して全血比重低位の者が多い (図10)。

- (2) 男性について年齢別に血色素量別分布をみると図11に示すように13.9g/dl以下の低位にある者は, 18～24歳では12.9%, 25～29歳で11.7%, 30歳代13.4%, 40歳代18.7%, 50歳代28.9%と年齢

図10 全血比重

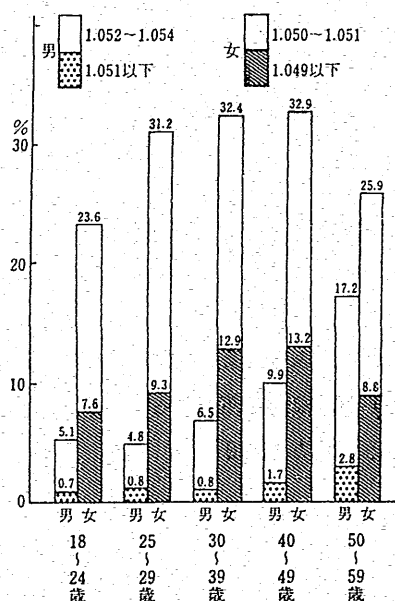


図11 血色素量

